



お 小 峯

町の北側に広がる小峯地区。今回で2度目となるわがまち散歩では、懐かしい顔に再会しつつ、心通い合う新しい出会いもありました。



地域の人たちが農耕馬への感謝をささげてきた、馬頭観音堂と呼び親しまれている「小峯観音堂」

子どもみこしの準備に汗を流していたお二人。左から那須さん、住吉さん



楽しそうに祭りに参加していたモア・シーナさん(右)とジェブソン・ナビアヤさん親子

子どもみこしが  
練り歩く夏

夏の夕刻、子どもみこしの掛け声と太鼓の音が響くと、小峯地区の夏祭りが始まります。毎年8月の第1土曜日に行われる夏祭りは32回目を迎えます。コロナ禍でやむなく中止になった年もありましたが、今年にはぎやかに開催されました。

「祭りが始まった当初から子どもみこし作りや太鼓の準備を担当します」、「この祭りがなかと、小峯の夏が来た感じがせんですね」と汗を拭きつつ笑顔をのぞかせるのは、那

須浩一さんと住吉光則さんです。小さいみこしを担ぐのは「子ども会」の百十数人の小学生たちです。3つのグループに分かれ、小峯観音堂(馬頭観音堂)を皮切りにリレーでみこしを担いで練り歩きます。最終到達地の友愛団地公園にはステージが設けられ、地域の人たちによる出し物も披露されます。

地域の新しい顔ぶれ

子どもみこしのスタート時間が近づくと馬頭観音堂に、法被姿の子どもたちが次々と集まってきました。見守る親たちも楽しそうです。

子どもみこしが小峯地区を練り歩きました



子どもみこしが来るのを楽しみに待っていた上田カオルさん



家族総出で参加した中坂さんたち